



▶▶ 9月1日は「防災の日」
8月30日～9月5日は「防災週間」

📍危機管理課 ☎ 43-5203

災害時のトイレ対策はできていますか？

災害が起きると、断水や停電、下水道管の損傷等により、水洗トイレが使用できなくなる場合があります。災害が発生した場合は、トイレを使用する前に、まず断水や停電の有無などを確認し、正常に使用できるか確かめましょう。

また、市ではこうした事態に備え、災害時用トイレの備蓄を行っています。各ご家庭においても、携帯トイレなどの災害時用トイレを日頃から備蓄しておくことが大切です。

■ どのくらい備蓄すればいいの？

《備蓄の目安》

■ 1人あたり3日分 / 15 回分

■ できれば7日分 / 35 回分

※成人の平均的な排せつ回数を1日5回として計算しています

■ 携帯トイレってどうやって使えばいいの？

携帯トイレは、一般的に次の手順で使します。

《使用方法の例》

①かぶせる

排便袋を便座にかぶせて使用する



➡ ②固める

凝固剤を入れて固める



➡ ③結ぶ

袋を結んで可燃ごみとして処分



※携帯トイレは吸水シートで吸収するタイプや凝固剤で固めるタイプがあります。製品によって使用方法が異なるため、事前に使い方を確認しておきましょう

▶▶ 熊本地震災害への
義援金を受け付けています



市では、令和8年熊本地震災害義援金の募金箱を設置しています。

場所 市役所本館 1 階・各市民交流センター (21 カ所)

期間 10 月 30 日 (金) まで

義援金は、市でとりまとめて、兵庫県または日本赤十字社へ送付し、被災者支援に活用される予定です。

📍総務課 ☎ 43-5001

▶▶ 市職員を熊本地震の
被災地へ派遣しました



兵庫県を通じ関西広域連合からの協力依頼に基づき、当市職員 2 人を令和 8 年熊本地震被災地支援のため熊本県宇城市に派遣しました。現地では、8 月 7 日から 14 日まで家屋被害認定調査に従事しました。「被災された方々への支援に全力で取り組んでまいります」と決意表明を行いました。

今月の表紙

淡路島日本遺産認定 10 周年特別展

「国指定重要文化財 松帆銅鐸と地域の宝」

松帆銅鐸は今年、国の重要文化財に指定され、淡路島日本遺産は認定から 10 周年の節目を迎えます。これを記念して、指定後初めてとなる松帆銅鐸全 7 点と、淡路島日本遺産を構成する遺跡から出土した資料などを展示する特別展を開催しています。地域の素晴らしい文化財をぜひご覧ください。

期間

9 月 23 日 (水・祝) まで

場所

滝川記念美術館玉青館



今月の内容

P3-5	市政ひろば ・熊本地震（職員派遣、義援金受付） ・第 12 回南あわじ市子ども議会開催 ・農業委員会委員・農地利用最適化推進委員が決定
P6-17	お知らせ ・「こども生活応援商品券」を給付します ・通勤・通学者交通費助成制度が令和 9 年度より一部変更になります
P18-21	情報瓦ばん 各種 募集、催し、相談ほか
P22-23	いきいき健康生活 健康カレンダー、休日応急診療所
P24	みんなの図書館
P25	子育て広場、ケーブルテレビからのお知らせ
P26-27	まちかどトピックス ・全国大会出場おめでとう まちの動き
P28	家庭で楽しむ学校給食 ほか

ふ れ あ い
市 長 室



南あわじ市長 守本 憲弘

南あわじ市の農業が 11 年連続で近畿 1 位になりました！

農林水産省が 7 月 24 日に公表した「令和 6 年市町村別農業産出額（推計）」において、南あわじ市の農業産出額が 254 億 9,000 万円となり、11 年連続で近畿地方第 1 位となりました。前年と比べて 42 億円増加しており、特に野菜は、全国的な猛暑や天候不順による品薄などを背景に市場価格が高騰したことが理由の一つとなっております。また、米や肉用牛についても前年を上回るなど、南あわじ市の農業全体が堅調な伸びを見せています。

本市の農業は、生産額の規模だけでなく、その営み自体も高く評価されています。令和 3 年には、南あわじ地域の農業システムが「日本農業遺産」に認定されました。日本農業遺産とは、地域で受け継がれてきた、伝統的な農林水産業や、それとともに育まれた文化・景観などを総合的に評価するものです。南あわじ地域で培われてきた耕畜連携（水田で生産された稲わらや飼料用稲を牛に給与し、その牛の堆肥を水田に還元す

る、耕種農家と畜産農家の連携）や、独特の分水器に象徴される、貴重な水を効率的に田畑に供給する仕組みなど、先人たちが地域の環境に合わせて築き上げ、今日まで受け継いできたものの価値が認められました。

一方で、将来にわたって農業を維持していくためには、課題もたくさんあります。

農業従事者の高齢化や担い手不足に加え、農地や水路などの維持・管理を担う人材の不足にも直面しています。農業を担う人が減少する中、個々の農家だけで農地や地域の農業基盤を維持していくことは難しく、地域全体で支えていく仕組みが重要となっています。

そのため、農業の担い手を確保・育成するとともに、地域で農地や水路を維持する活動を支え、農業を続けやすい環境を整えていくことが必要です。女性農業者や移住者など新たな担い手の確保や農作業の省力化など、時代の変化に対応した取組も進めていく必要があります。

11 年連続で近畿地方第 1 位となったことは、これまで南あわじの農業を支えてきた農家の皆さまやさまざまな形で協力を惜しまない地域の皆さまの努力の積み重ねによるものです。この実績を今後につなげていくためにも、これまで培われてきた知恵や技術を大切にしながら、現在抱える課題の一つひとつ向き合っていく必要があります。南あわじの農業がこれからも地域の基幹産業として発展していけるよう、農業を支える皆さまとともに取り組んでいきたいと考えています。



企業版ふるさと納税 ミサキ電機株式会社から寄付

幅広い種類の照明器具や、スポーツ施設向けスコアボード、電子制御ロッカーなどの製品の開発・製造を手がけるミサキ電機株式会社から、企業版ふるさと納税として南あわじ市に寄付がありました。

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄付を行うことで、企業が地方自治体を支援し、地域社会の発展を応援することができる制度です。

7月31日、市役所で感謝状贈呈式があり、守本市長から河野佳史代表取締役社長に感謝状が贈呈されました。



打楽器・マリンバ奏者中田丈次さん ふるさと応援大使に就任、市内で演奏会も

賀集出身の打楽器・マリンバ奏者 中田丈次さんが南あわじ市ふるさと応援大使に就任し、8月5日に委嘱状交付式を行いました。

中田さんはプロの打楽器・マリンバ奏者で、関西を中心にアーティストとの共演、学校での演奏、楽器指導などの活動をしており、市内では毎年「音の和コンサート」を開催しています。

交付式終了後、体験プログラムの一環として、アフタースクール棟列の児童約50人へ向けて、ピアニストの轟圭子さんとともにマリンバの演奏を披露しました。



新しい農業委員会委員・農地利用最適化推進委員が決定

新しい農業委員会委員19人と農地利用最適化推進委員35人が決定しました。

両委員とも任期は令和11年7月31日までの3年間です。また、農業委員会会長に三原賀代子さん、会長職務代理者に正木正年さんが選出されました。

農業委員会委員の活動内容は次の①と②、農地利用最適化推進委員の活動内容は②です。

- ①法令による審議（農地法3条・4条・5条申請等）
- ②農地利用の最適化のための現場活動（地域計画策定への支援、遊休農地の発生防止・解消、農地等の賃貸借合意解約等）



南あわじ市・セライナ市 姉妹都市提携から30周年の節目を迎えました

本年、南あわじ市とアメリカ・オハイオ州セライナ市は、姉妹都市提携30周年という大きな節目を迎えました。7月17日から20日まで、セライナ市からジェフリー・ヘーゼル市長をはじめ、市議会議員の皆さまが来訪され、30周年記念式典や祝賀会にご出席いただきました。記念式典では、両市長が30周年の記念品を交換し、今後のさらなる交流を誓い合いました。

また、7月18日から24日には、12人の学生使節団（引率者4人を含む）が来日し、市内でのホームステイや観光、市内の学生や市民との交流を通して、互いの文化や暮らしへの理解を深めました。



7月19日開催の記念式典



戦争の記憶を胸に、平和への誓いを新たに 戦没学徒追悼献花式を挙行

終戦の日の8月15日、若人の広場公園で市主催の戦没学徒追悼献花式が行われました。式典には行政や市遺族会の関係者ら24人が参列し、太平洋戦争中に学徒出陣や軍需工場への動員などで亡くなった若者の冥福を祈りました。参加者は白菊を献花台に供え、戦没学徒の追悼と恒久平和を祈念しました。市遺族会の多田宗儀会長は、「恒久平和の大切さを胸に刻み、戦没学徒たちの思いを全国に発信し続けたい」と述べました。

式典後、同公園の広場で「萬灯会」が開催され、灯籠の明かりにより「希」の文字が浮かび上がっていました。



戦没学徒をしのび献花する多田会長

第12回南あわじ市子ども議会開催 小学生が市議会議員に質問や提案

8月5日、市内の各小学校から選ばれた15人の児童が議員となり「わたしたちがつくる これからの南あわじ市」をテーマに、「第12回南あわじ市子ども議会」が開催されました。

議会は2部に分けて開催され、第1部は議長を務めた船本紗世さん（志知小）、第2部は副議長を務めた出口湊介さん（八木小）が進行しました。

子ども議員からはバイ捨て対策や体育館へのエアコンの設置など、各小学校で話し合った内容について提案があり、市議会議員が丁寧に答弁しました。

詳しくは、10月31日発行の「議会だより第92号」に掲載されます。

